

6 中学校及び義務教育学校特別支援学級卒業者の進路状況

(1) 進路の状況

卒業者の進路状況は、表 18 のとおりである。

卒業者 1,425 人のうち、進学者（進学者のうち就職している者を含む。）が 1,373 人（96.4%）で、前年度（97.3%）より 0.9 ポイント減少した。

表 18 中学校及び義務教育学校特別支援学級：状況別卒業者数

（単位：人、%）

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
28	1,625 (100.0)	1,573 (96.8)	24 (1.5)	- -	7 (0.4)	11 (0.7)	10 (0.6)	- -
29	1,625 (100.0)	1,577 (97.0)	18 (1.1)	- -	11 (0.7)	17 (1.0)	2 (0.1)	- -
30	1,575 (100.0)	1,511 (95.9)	35 (2.2)	2 (0.1)	8 (0.5)	17 (1.1)	2 (0.1)	- -
令和元	1,294 (100.0)	1,233 (95.3)	33 (2.6)	- -	3 (0.2)	24 (1.9)	1 (0.1)	- -
2	1,322 (100.0)	1,286 (97.3)	16 (1.2)	2 (0.2)	4 (0.3)	12 (0.9)	2 (0.2)	- -
3	1,425 (100.0)	1,373 (96.4)	26 (1.8)	1 (0.1)	2 (0.1)	20 (1.4)	3 (0.2)	- -

注1) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

2) 「専修学校等入学者」には「専修学校等入学者のうち就職している者」を含む。

3) 「就職者等」は「進学者のうち就職している者」及び「専修学校等入学者のうち就職している者」を含まない。

4) 令和元年度から通級指導学級を含まない。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

(2) 進学者の状況

進学者（進学者のうち就職している者を含む。）1,373 人のうち、特別支援学校の高等部へ 953 人（進学者の 69.4%）が進み、高等学校全日制課程（高等専門学校を含む。）へ 119 人（8.7%）、定時制課程へ 86 人（6.3%）、通信制課程へ 215 人（15.7%）が進んでいる。

(Ⅲ統計表：第 32 表参照)

(3) 就職者等の状況

就職者等は 2 人で、雇用形態別に見ると、「無期雇用労働者」が 2 人となっている。

(Ⅲ統計表：第 34 表参照)

7 特別支援学校卒業者の進路状況

(1) 都立特別支援学校（視覚障害）

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 19 のとおりである。

表 19 都立特別支援学校小学部（視覚障害）：状況別卒業者数 (単位：人)

卒業年度	卒業者	都内中学校等進学者						国立	私立	都外中学校等進学者	その他
		計	公立	(再掲)区市町村立	(再掲)都立	(再掲)特別支援学校中学部					
28	12	12	12	-	-	12	-	-	-	-	
29	12	11	11	1	-	10	-	-	1	-	
30	10	9	7	1	-	6	2	-	1	-	
令和元	10	10	9	-	-	9	1	-	-	-	
2	14	14	10	-	-	10	4	-	-	-	
3	14	13	12	-	-	12	1	-	-	1	

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 20 のとおりである。

表 20 都立特別支援学校中学部（視覚障害）：状況別卒業者数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
28	14	14	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
29	13	13	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
30	18	18	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	25	25	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
2	19	19	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
3	10	10	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-

注) 文部科学省の学校基本調査の項目変更を踏まえて、令和元年度卒業者から「就業者」は「就職者等」となった。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 21 のとおりである。

卒業者 30 人のうち、進学者は 12 人（卒業者の 40.0%）で、内訳は「大学」が 3 人、「大学・短大通信教育部」が 1 人、「特別支援学校専攻科」が 8 人となっている。

就職者等は 3 人（卒業者の 10.0%）で、雇用形態別に見ると、「無期雇用労働者」が 2 人、「自営業主等」が 1 人となっている。職業別に見ると、「あんま・はり師・指圧・きゅう師・マッサージ」が 2 人、「事務」が 1 人となっている。

表 21 都立特別支援学校高等部（視覚障害）：状況別卒業生数

（単位：人、％）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
28	27 (100.0)	6 (22.2)	3 (11.1)	8 (29.6)	6 (22.2)	4 (14.8)	-	-
29	40 (100.0)	8 (20.0)	2 (5.0)	9 (22.5)	9 (22.5)	12 (30.0)	-	-
30	26 (100.0)	5 (19.2)	1 (3.8)	7 (26.9)	8 (30.8)	5 (19.2)	-	-
令和元	32 (100.0)	7 (21.9)	2 (6.3)	7 (21.9)	8 (25.0)	8 (25.0)	-	-
2	27 (100.0)	6 (22.2)	1 (3.7)	10 (37.0)	3 (11.1)	7 (25.9)	-	-
3	30 (100.0)	12 (40.0)	-	12 (40.0)	3 (10.0)	3 (10.0)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37・38・40・41 表参照)

(2) 都立特別支援学校（聴覚障害）

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 22 のとおりである。

表 22 都立特別支援学校小学部（聴覚障害）：状況別卒業生数

（単位：人）

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者							都外中学校進学者	その他
		計	公立	(再掲)区市町村立	(再掲)都立	(再掲)特別支援学校中学部	国立	私立		
28	43	43	43	-	-	-	43	-	-	-
29	45	43	43	1	-	-	42	-	-	2
30	39	37	35	2	-	-	33	-	2	2
令和元	39	39	36	1	-	-	35	2	1	-
2	38	38	36	-	-	-	36	2	-	-
3	38	37	35	-	-	-	35	-	2	1

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 23 のとおりである。

表 23 都立特別支援学校中学部（聴覚障害）：状況別卒業生数

（単位：人、％）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
28	49 (100.0)	49 (100.0)	-	-	-	-	-	-
29	44 (100.0)	43 (97.7)	-	-	-	1 (2.3)	-	-
30	54 (100.0)	54 (100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	51 (100.0)	50 (98.0)	-	-	1 (2.0)	-	-	-
2	47 (100.0)	47 (100.0)	-	-	-	-	-	-
3	41 (100.0)	41 (100.0)	-	-	-	-	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 24 のとおりである。

卒業者 64 人のうち、進学者は 39 人（卒業者の 60.9%）で、内訳は「大学」が 21 人、「短期大学」が 1 人、「特別支援学校専攻科」が 17 人となっている。

就職者等は 17 人（卒業者の 26.6%）で、雇用形態別に見ると、「無期雇用労働者」が 7 人、「有期雇用労働者 a」が 3 人、「有期雇用労働者 b」が 7 人となっている。職業別に見ると、「事務」が 9 人、「販売」が 1 人、「技能工等」が 1 人、「サービス職業」が 6 人となっている。

注) 「有期雇用労働者 a」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間以上の者を指す。「有期雇用労働者 b」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間未満の者又は雇用契約期間の定めが 1 か月以上 1 年未満の者を指す。

表 24 都立特別支援学校高等部（聴覚障害）：状況別卒業生数（単位：人、%）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
28	78 (100.0)	33 (42.3)	5 (6.4)	4 (5.1)	32 (41.0)	3 (3.8)	1 (1.3)	-
29	78 (100.0)	42 (53.8)	-	7 (9.0)	26 (33.3)	3 (3.8)	-	-
30	77 (100.0)	38 (49.4)	2 (2.6)	6 (7.8)	29 (37.7)	2 (2.6)	-	-
令和元	67 (100.0)	28 (41.8)	3 (4.5)	5 (7.5)	25 (37.3)	2 (3.0)	4 (6.0)	-
2	57 (100.0)	38 (66.7)	2 (3.5)	3 (5.3)	14 (24.6)	-	-	-
3	64 (100.0)	39 (60.9)	3 (4.7)	5 (7.8)	17 (26.6)	-	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37・38・40・41 表参照)

(3) 都立特別支援学校（肢体不自由）

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 25 のとおりである。

表 25 都立特別支援学校小学部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人）

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者							都外中学校等進学者	その他
		計	公立	(再掲)区市町村立	(再掲)都立	(再掲)特別支援学校中学部	国立	私立		
28	151	149	149	2	-	147	-	-	2	-
29	132	131	131	3	-	128	-	-	1	-
30	121	121	121	2	-	119	-	-	-	-
令和元	155	155	155	2	-	153	-	-	-	-
2	161	161	161	-	-	161	-	-	-	-
3	179	179	179	1	-	178	-	-	-	-

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 26 のとおりである。

表 26 都立特別支援学校中学部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人、％）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
28	168 (100.0)	167 (99.4)	-	-	-	1 (0.6)	-	-
29	194 (100.0)	194 (100.0)	-	-	-	-	-	-
30	140 (100.0)	136 (97.1)	-	-	-	4 (2.9)	-	-
令和元	164 (100.0)	161 (98.2)	-	-	-	1 (0.6)	2 (1.2)	-
2	142 (100.0)	141 (99.3)	-	-	-	1 (0.7)	-	-
3	136 (100.0)	135 (99.3)	-	-	-	1 (0.7)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 27 のとおりである。

卒業生 153 人のうち、社会福祉施設入所・通所者が最も多く 136 人で、卒業生に占める割合は、88.9%となっている。社会福祉施設入所・通所者のうち在学中から入所・通所している者が 5 人（社会福祉施設入所・通所者のうち 3.7%）となっている。

表 27 都立特別支援学校高等部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人、％）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
28	196 (100.0)	6 (3.1)	2 (1.0)	174 (88.8)	6 (3.1)	6 (3.1)	2 (1.0)	-
29	190 (100.0)	6 (3.2)	5 (2.6)	165 (86.8)	8 (4.2)	6 (3.2)	-	-
30	186 (100.0)	1 (0.5)	3 (1.6)	171 (91.9)	5 (2.7)	6 (3.2)	-	-
令和元	184 (100.0)	10 (5.4)	2 (1.1)	155 (84.2)	6 (3.3)	11 (6.0)	-	-
2	201 (100.0)	2 (1.0)	2 (1.0)	182 (90.5)	5 (2.5)	10 (5.0)	-	-
3	153 (100.0)	4 (2.6)	2 (1.3)	136 (88.9)	5 (3.3)	6 (3.9)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37 表参照)

(4) 都立特別支援学校(知的障害)

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 28 のとおりである。

表 28 都立特別支援学校小学部(知的障害): 状況別卒業者数 (単位: 人)

卒業年度	卒業者	都内中学校等進学者							都外中学校進学者	その他
		計	公立	(再掲) 区市 町村立	(再掲) 都立	(再掲) 特別支援 学校 学校 中学部	国立	私立		
28	377	376	376	3	-	373	-	-	1	-
29	399	398	397	2	-	395	-	1	1	-
30	449	448	447	3	-	444	1	-	1	-
令和元	465	462	450	2	-	448	11	1	2	1
2	524	524	524	1	-	523	-	-	-	-
3	518	516	515	3	-	512	-	1	2	-

(Ⅲ統計表: 第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 29 のとおりである。

表 29 都立特別支援学校中学部(知的障害): 状況別卒業者数 (単位: 人、%)

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
28	547	545	-	-	1	1	-	-
	(100.0)	(99.6)	-	-	(0.2)	(0.2)	-	-
29	546	543	-	1	-	2	-	-
	(100.0)	(99.5)	-	(0.2)	-	(0.4)	-	-
30	505	502	-	-	-	3	-	-
	(100.0)	(99.4)	-	-	-	(0.6)	-	-
令和元	500	498	1	-	-	1	-	-
	(100.0)	(99.6)	(0.2)	-	-	(0.2)	-	-
2	529	528	-	-	-	1	-	-
	(100.0)	(99.8)	-	-	-	(0.2)	-	-
3	600	596	-	-	1	3	-	-
	(100.0)	(99.3)	-	-	(0.2)	(0.5)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表: 第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 30 のとおりである。

卒業者は 1,451 人のうち、社会福祉施設入所・通所者が 720 人(卒業者の 49.6%)と最も多く、次いで就職者等が 678 人(卒業者の 46.7%)となっている。

就職者等を雇用形態別に見ると「有期雇用労働者 b」が最も多く 337 人(就職者等の 49.7%)となっている。職業別に見ると「サービス職業」が最も多く 362 人(就職者等の 53.4%)となっている。

表 30 都立特別支援学校高等部（知的障害）：状況別卒業生数

(単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
28	1,580 (100.0)	1 (0.1)	10 (0.6)	815 (51.6)	710 (44.9)	44 (2.8)	-	-
29	1,550 (100.0)	2 (0.1)	5 (0.3)	727 (46.9)	774 (49.9)	41 (2.6)	1 (0.1)	-
30	1,634 (100.0)	3 (0.2)	5 (0.3)	765 (46.8)	811 (49.6)	49 (3.0)	1 (0.1)	-
令和元	1,610 (100.0)	2 (0.1)	7 (0.4)	750 (46.6)	804 (49.9)	46 (2.9)	1 (0.1)	-
2	1,594 (100.0)	2 (0.1)	11 (0.7)	743 (46.6)	787 (49.4)	51 (3.2)	-	-
3	1,451 (100.0)	2 (0.1)	6 (0.4)	720 (49.6)	678 (46.7)	45 (3.1)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37・40・41 表参照)

(5) 都立特別支援学校（病弱）

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 31 のとおりである。

表 31 都立特別支援学校小学部（病弱）：状況別卒業生数

(単位：人)

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者							都外中学校等進学者	その他
		計	公立	(再掲)区市町村立	(再掲)都立	(再掲)特別支援学校中学部	国立	私立		
28	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 32 のとおりである。

表 32 都立特別支援学校中学部（病弱）：状況別卒業生数

(単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
28	1 (100.0)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-
29	5 (100.0)	5 (100.0)	-	-	-	-	-	-
30	2 (100.0)	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	2 (100.0)	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-
2	2 (100.0)	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 33 のとおりである。

卒業者 1 人は、「在家庭者」が 1 人となっている。

表 33 都立特別支援学校高等部（病弱）：状況別卒業者数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
28	3 (100.0)	-	2 (66.7)	1 (33.3)	-	-	-	-
29	6 (100.0)	-	1 (16.7)	-	-	5 (83.3)	-	-
30	3 (100.0)	1 (33.3)	-	1 (33.3)	1 (33.3)	-	-	-
令和元	4 (100.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	-	1 (25.0)	-	-
2	4 (100.0)	-	-	3 (75.0)	-	1 (25.0)	-	-
3	1 (100.0)	-	-	-	-	1 (100.0)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37 表参照)

(6) 区立特別支援学校

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 34 のとおりである。

表 34 区立特別支援学校小学部：状況別卒業者数 (単位：人)

卒業年度	卒業者	都内中学校等進学者							都外中 学校等 進学者	その他
		計	公立	(再掲) 区市 町村立	(再掲) 都立	(再掲) 特別支 援学 校中 学部	国立	私立		
28	44	43	42	30	-	12	-	1	1	-
29	41	40	37	21	-	16	-	3	1	-
30	38	37	36	18	-	18	-	1	1	-
令和元	39	38	36	22	-	14	-	2	1	-
2	32	32	30	19	-	11	-	2	-	-
3	40	39	39	23	-	16	-	-	1	-

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 35 のとおりである。

表 35 区立特別支援学校中学部：状況別卒業者数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
28	10 (100.0)	9 (90.0)	-	-	-	1 (10.0)	-	-
29	12 (100.0)	12 (100.0)	-	-	-	-	-	-
30	11 (100.0)	11 (100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	18 (100.0)	18 (100.0)	-	-	-	-	-	-
2	20 (100.0)	20 (100.0)	-	-	-	-	-	-
3	24 (100.0)	23 (95.8)	-	-	-	1 (4.2)	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)